

# 新規採用職員 Talk Session



(左) 村山総合支庁農村計画課 釘持 ひろ (総合土木)  
(中央) みらい企画創造部 DX 推進課 高橋 堯大 (行政)  
(右) しあわせ子育て応援部子ども育成支援課 滝口 茜 (行政)

## ▶ 県職員を目指したきっかけは？

**滝口**：就職活動中は民間企業も視野に入れていましたが、安定性を重視したので最終的に公務員に絞りました。(コロナ禍で公務員人気が高まっていた影響もあります) その中で山形県職員を志望したのは、やはり地元という安心感もあったことに加え、幅広い業務に関わる機会があるのではと考えたからです。

**高橋**：人の役に立つことを仕事にしたいという思いが第一にありました。その上で、県職員でしかできないことや県全体を支えられるという点に魅力を感じました。



**釘持**：大学で学んだことを活かせる仕事が良いと考えながら就職活動をしていました。そこで県職員では大学で学んだ農業土木を活かせると思い目指しました。

## ▶ 入庁後のギャップはありますか？

**釘持**：入庁前は各自が担当する仕事のデスクワークが中心だと思っていましたが、関係者と打合せをしたり実際に現場を見に行ったりと外に出ることが多いこと、活発なコミュニケーションがあることにギャップを感じました。

**高橋**：職員間のコミュニケーションが活発に取られているということです。業務の中でわからないことも聞きやすく、なにより居心地の良い雰囲気です。

**滝口**：休暇の取りやすさが良い意味で意外でした。入庁前は「実際にはなかなか取れないのでは」と思っていたのですが、自分の仕事のスケジュールとの兼ね合いを考慮した上であれば気軽に申請できます。時間の細かい調整もできるのがありがたいです。



## ▶ 印象に残っている仕事は？

**高橋**：業務上の手続きを簡略、省略するアプリを作成したことです。業務内容やフローを聞き取り、電子上で手続きが完結するようにしました。専門的な知識など一切ないもののDXに携われたことに大きな達成感がありました。



**釘持**：様々な研修に参加したことです。普段は見られない施工中の現場を見ることで新たな知識を身につけることができるので楽しいです。また、次に担当してみたい業務を見つける機会にもなりました。

**滝口**：保育施設の先生方の研修会に参加させていただいたことが特に印象に残っています。保育の仕事に就いている方々と直接お話しできてとても勉強になりましたし、日頃のデスクワークのモチベーションアップにも繋がったと感じています。

## ▶ 県職員になって良かったことは？

**滝口**：自分の時間がしっかり確保できることです。早めに退勤した日はヨガに行くなど、平日もある程度自分のしたいことをする余裕があるおかげで、身体だけでなくメンタルの健康も保つことができていると感じます。もう一つは、同期が多いことです。配属先は大体バラバラなので、自分があまり仕事に関わることがない部署にいる友人たちと話していると、面白く感じたり違いに驚いたりすることが頻繁にあるので楽しいです。

**高橋**：山形の魅力を肌感じられる、充実したプライベートが過ごせる点です。出張の移動中等に教えていただいたおいしいお店や自然の美しい場所、スキー場やキャンプのできる場所等、初めての山形を楽しんでいます。日々学ぶことができ、成長を実感できるのが楽しいです。担当業務への知識が日々深まるためやりがいがあり、様々な分野へ知識を広げられる機会があることも魅力です。

**釘持**：休みがとりやすいので、プライベートの時間を充実させられることです。休暇制度を利用し友人と遊んだり旅行に行ったりしました。職場は先輩職員に相談しやすい環境なので働きやすいと感じます。



## ▶ オフの過ごし方は？

**釘持**：仕事が終わった後は家事をして終わることが多いです。休日は友人と遊んだりドライブに行ったり、趣味の時間を楽しんでいます。



**高橋**：映画が好きなので、平日は映画を観ながら夜ご飯を作って食べることが多いです。休日は、所属しているハンドボールチームの練習に参加したり、旅行やサウナに行ったりすることが多いです。

**滝口**：休日は外出することが多く、遠出して友人とショッピングに行ったり、行ったことのないお店を開拓したりしています。休日しかできない楽しみを満喫すると、来週からまた頑張ろうという気持ちが湧いてくる気がします。



## ▶ 受験者へメッセージをお願いします！

**高橋**：働き始めてまだ1年も経っていませんが、想像以上に多くの方と関わり、助けてもらいながら様々なことを学ばせていただきました。わからないことばかりで大変なこともありましたが、県民の皆さまのために前向きに成長できる、やりがいのある仕事だと思います。皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

**滝口**：毎日忙しいと思いますが、体調を崩さないように気を付けて頑張ってください！4月に皆さんとお会いできたら嬉しいです。

**釘持**：公務員試験の勉強で不安になったり辛くなったりすることがあるかもしれませんが、自分のペースで無理せず頑張ってください！みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



やまがたの明日をつくっていきましょう！

# 県職員のキャリアパス

仕事と家庭を両立し様々な職場でキャリアを重ねた職員のキャリアパスを紹介

しあわせ子育て応援部  
多様性・女性若者活躍課  
課長補佐(多様性・女性活躍担当)

**鈴木 とも子**

(行政 平成13年度採用)



## ▶ これまでのキャリア

【一般級】 平成13年～(この間育児休業(第1子・第2子)取得)

農林水産部農村整備課

農林水産部農村計画課

技術職の方に囲まれて、農業用水路を活用した施設の整備などを担当していました。机に座っているよりも現地ヒアリングや視察、イベントで現場に行くことが多く、先人の知恵や農村の美しさに触れる機会も多々ありました。

人事委員会事務局職員課

出納局総務課

【係長級】 平成23年～

職員育成センター

新規採用職員研修を担当し、東日本大震災の被災地での現地研修を企画しました。センターが一丸となって取組み、現場体験を通し微力ながら復興支援に携わる研修が成功して達成感がありました。

健康福祉部障がい福祉課

【主査級】 平成28年～

健康福祉部障がい福祉課

商工労働部産業政策課

観光文化スポーツ部観光立県推進課

観光文化スポーツ部観光復活戦略課

精神文化を通して山形の魅力を発信する「やまがた羽百観音」プロジェクトに携わり、関わったみなさんと一緒にプロモーションサイトを作り上げました。



【課長補佐級】 令和4年～

しあわせ子育て応援部女性・若者活躍推進課

しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課(現職)

## ▶ 女性活躍の推進

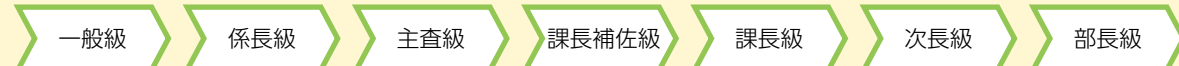
令和5年度大学卒業程度試験最終合格者に占める女性の割合

(全体) **37.0%** (行政) **46.8%**

## ▶ 昇任

主事又は技師などとして採用され、その後は能力主義により上位の職へ昇任することができます。警察官については、巡査として採用され、その後は昇任試験等により上位の階級に昇任することができます。

◆昇任例(知事部局事務系)



## ▶ 現在の担当業務

男女共同参画の推進やパートナーシップ宣誓制度を所管する多様性・女性活躍担当の総括です。知事が全国知事会の男女共同参画PT長を務めていることから、夏の全国知事会議の多様性セッション(座長：吉村知事)を担当しました。



全国知事会議セッションの様子(R5.7月開催)

## ▶ これまでの経験で印象に残っていること

これまで所属した職場や関係先には職位や年齢等に関わらず、様々な経験を持ち、視野も広く、意識の高い方々が必ずいて、学びや気づきを得ることができたことです。業務に必要なアイデアは湧き出るものでもなく、スキルも無意識に身につくものではないので、業務に関わる方々からいただいた知見を成果に結びつけることと、自分の財産として生かしていくことを求められていると感じています。

## ▶ 仕事と家庭の両立

子ども達や学校、当時の保育園等誰に聞いても夫の方が仕事も子育ても頑張っていると答えるのではないのでしょうか。子が小さい頃は近くに住んでいた義父母の助けも大きかったですし、今も夫と自分と両方の職場に現在進行形で助けていただいているものと思っています。

## ▶ 受験者へのメッセージ

これから不安や困難が生じることもあるかもしれませんが、そのときは、「アンコンシャス・バイアス」がないか振り返っていただくことをお勧めします。無意識に持っている自分や周囲への思い込み・決めつけを排除すると、現状を受け止め、素直に自分の可能性を広げてみようと思えるようになります。現在の業務でジェンダー平等や多様性を尊重する社会づくりに向けて「アンコンシャス・バイアス」への気づきを促す取り組みを進めており、一人ひとりにとっても生きづらさの解消や行動変容につながるスキルとして活用できると思っています。



セミナーの開催レポートもぜひご覧ください。

性別に関わりなく個人として尊重され、社会や地域において個性や能力を十分に発揮できる山形県を目指しています。



管理職※に占める女性職員の割合の推移(知事部局) ※課長級以上

